

たゆまなく躍進する全国組織

# NEP工業会

New  
Engineering  
Progressive

- 東京セメント工業株 ☎03(3263)7788
- 株常盤コンクリート工業所 ☎0488(73)7171
- 館山コンクリート株 ☎0470(22)1589
- 株日東 ☎0492(83)5181
- 株武井工業所 ☎02992(3)2196
- 利根コンクリート工業株 ☎0471(29)4421
- 同和コンクリート工業株 ☎0487(46)7721
- アルファダイマル株 ☎0423(62)4070
- 富士コンクリート工業株 ☎0422(53)1221
- 住建コンクリート工業株 ☎03(357)0371
- 株茨中 ☎02967(7)1135
- 富士コンクリート工業株 ☎0276(82)2227
- 株カネヤス ☎0463(75)0701
- ヨシコン株 ☎05462(2)0641
- 日本コンクリート株 ☎052(793)1151
- スギヤマコンクリート株 ☎052(761)5356
- 株丸治コンクリート工業所 ☎0572(22)6175
- 拓植コンクリート工業株 ☎0592(32)2555
- 株ネオジオ ☎0596(22)1285
- トクコン株 ☎05372(6)...
- 淀コンクリート工業株 ☎06(372)...
- 京阪コンクリート工業株 ☎075(631)3231
- 阪神工業株 ☎07946(7)0280
- 阪和コンクリート工業株 ☎0722(41)1667
- 双和コンクリート工業株 ☎0773(23)0331
- 日進コンクリート工業株 ☎07442(2)6641
- 光コンクリート工業株 ☎0775(87)2101
- 株清水組 ☎0795(32)3250
- 加西コンクリート株 ☎07904(8)2661
- ランデス株 ☎0867(52)1141
- 出雲コンクリート工業株 ☎0853(23)2633
- 山陽ブロック工業株 ☎082(293)1020
- 藤田建材工業株 ☎0829(21)1121
- 長尾コンクリート工業株 ☎0878(31)1695
- 日本コンクリート工業株 ☎0899(64)2193
- 株カンケン ☎0875(25)3427
- 富士建設工業有 ☎0886(42)1477
- 日本興業株 ☎0878(31)2828
- 株九コン ☎092(741)5731
- 大建コンクリート株 ☎0977(24)5411
- 協立コンクリート工業株 ☎096(293)4332
- 不二高圧コンクリート株 ☎096(356)8585
- インフラテック株 ☎0992(23)0011
- 沖縄建設工業株 ☎0988(57)...
- 株沖坤 ☎0980(55)2488
- 不二コンクリート工業株 ☎0954(23)3168
- 大建コンクリート工業株 ☎092(771)6211
- 仙台コンクリート工業株 ☎022(241)5111
- 盛南コンクリート工業株 ☎0196(36)0320
- 吉田セメント工業株 ☎0242(27)4328
- 東栄コンクリート工業株 ☎0236(43)1144
- 若松コンクリート株 ☎0186(55)0181
- 東成産業株 ☎0198(24)5311
- 沖田コンクリート株 ☎01255(4)1255
- 株鋼商 ☎01452(5)3111
- 日本高圧コンクリート株 ☎011(241)7101
- 永井コンクリート工業株 ☎0257(47)2331
- 株高見澤 ☎0257(47)2331
- 株ミルコン ☎0776(54)0171
- 株ケンチ ☎0766(52)0113

### 技術指導

- 株建設企画コンサルタント ☎06(441)4613
- 原田株 ☎03(3494)2331

### 事務局

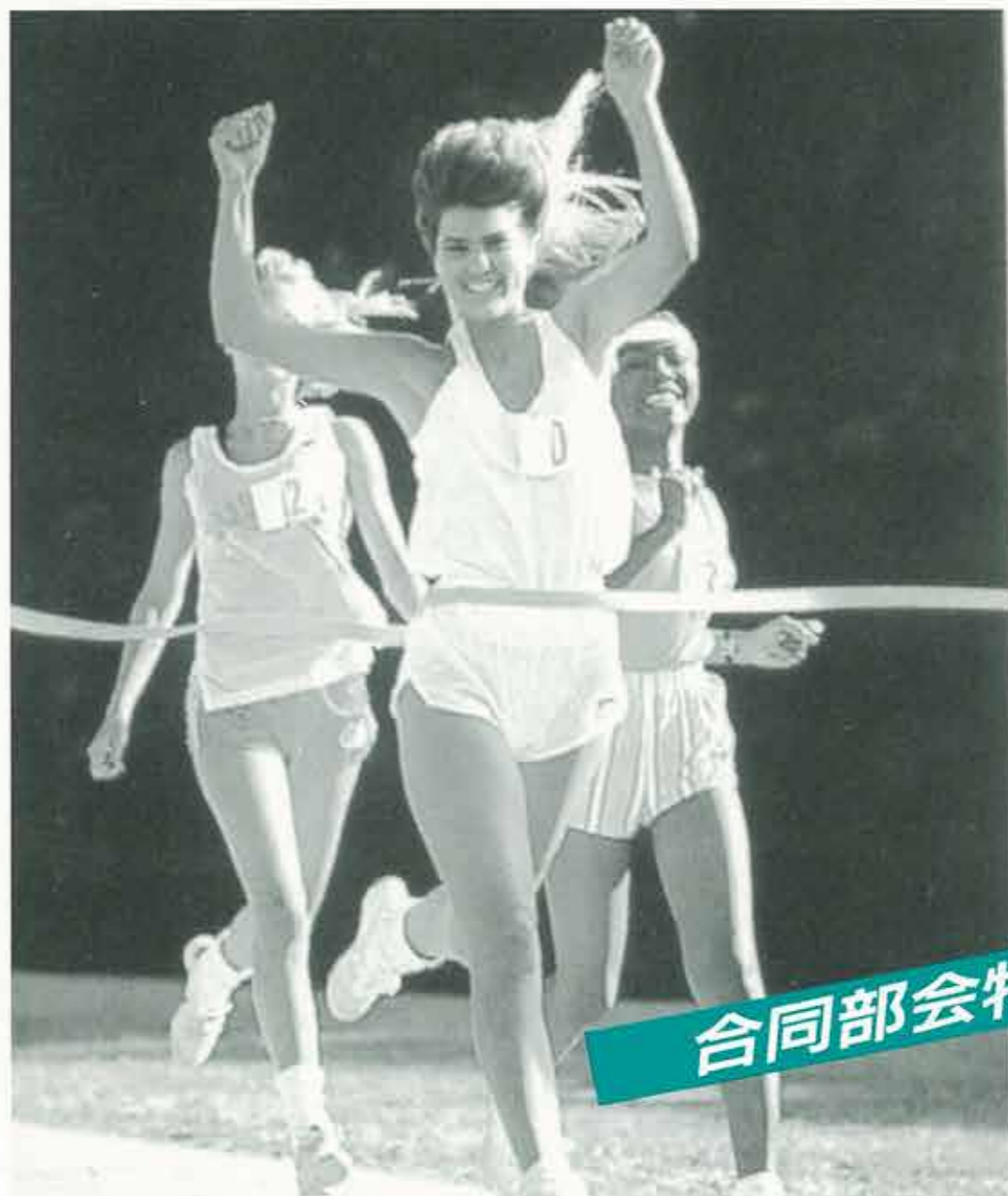
〒613 京都市伏見区淀本町225 (近京コンクリート工業所内)  
☎075(632)0840

# NEP

## REPORT

エヌ・イー・ピー レポート

Vol.5



合同部会特集

たゆまなく躍進する全国組織

# NEP工業会



営業部会長

黒川 信夫

### 新年明まして おめでとうございます。

NEP工業会会員の皆様には合同小委員会の運営企画行事には大変御協力をいただき感謝を申し上げます。

昨年はバブル経済崩壊後の世間では不景気であり、我々会員社も政府の景気浮揚策の公共投資を期待しながらストック調整に追われた一年であったのではないのでしょうか。

このような背景の中、昨年の春季合同部会では取扱商品の説明、第3回NEP欧州視察団の欧州視察報告、グループディスカッションでは、景観商品の研究、職場環境の改善省人化、大型製品の研究をテーマで討議発表を致しました。

秋季合同部会では参加する部会から聞く部会へ模様替えして、事例発表としてイメージを越えた工場作りとミキサー選びについて、我が社の求人方法とOA化、我が社の品質管理、職場における女性の活用についてNEP工業会の会員社が発表され、更に、特別講演として財経調査会本部調査部第一調査室長・小倉英一様より建設資材の動向、更に住友商事鉄鋼第一本部本部長付・平野豊様より発想の転換（セールスマンと結婚詐欺）をいただきました。

なお、今回の合同部会ではNEP工業会としては初めての株田東社長・三町令子様、ランテス株の品質保証部係長・コンクリート主任技師の坪田陽子様の事例発表があり女性が13名参加をいただきました。大半の方がこの様な研修会の参加は初めてであり、大変楽しく良い体験をされたのではないかと考えております。

しかし、今回の秋季合同部会は日程にも問題があったかと思われませんが参加人員が予想外に少なく期待はずれであり、部会の企画も反省される反面、色々な事情があるかと思いますが、せめて会員である以上、会員社是一名以上参加をしてほしいものです。

さて、今年も昨年と同様、厳しい状況が予想されていますが、我がコンクリート製品業界では慢性的な人手不足環境の中、省力化商品、プレハブ商品、景観商品、環境商品等新商品が続々出現してきており、大幅な商品転換期を迎えて生産量も増えてきております。

昨年は西日本（熊本）、東日本（東京）、中日本（京）支部でNEP工業会としてのニューウォールコン・ハイタッチウォール・ミルウォール等のL型擁壁始め扱い商品の勉強会を開催しましたが商品転換の激しいこの時期に会員各社の営業テリトリー変化も進む中、テクスパンも販売見通しの立った本年、扱い商品の見直し、分権のあり方、会の運営組織等「21世紀へ向けての創造」とスローガンを掲げるNEP工業会として第22期を迎える本年にこの様な問題点を会の伝統を守りつつ、ひたむきに討議することに挑戦していこうと思っています。

最後になりましたが、今年も大相撲ブームが相変わらず続いています。若貴兄弟がインタビューでよく答える言葉で「一番、一番、真剣に取り組むだけです」というのがあります。「一番、一番、真剣に取り組む」……それを今年の私のモットーにし、会員の皆様とともにNEP工業会発展のためにがんばっていききたいと思います。



技術部会長

福村 敏男

### 新年明けまして おめでとうございます。

輝かしい新春を御家族お揃いで楽しくお迎えのことと心から、お祝い申し上げます。

旧年を振りかえりますと景気回復が仲々軌道に乗らず補正予算審議も遅れ暗い記事ばかりが多く残る82年でした。それでも私達の業界を見ても大変良い環境にあると思います。

政府も景気の立直しをはかるため10兆7千億円の総合経済対策その内8兆6千億円の公共投資関連の予算が計上されました。今後社会資本の整備を行なうため（高齢化）社会の進み中で建設省が中心となって、官民1体で建設工事の省人化、合理化、機械化を進めて行かなくてはならない。現場での省人化のためできるだけプレキャスト化し製品の長尺化、施工性のよい製品の開発が特に重視され、又景観商品への切変、河川においては自然に川をもどす設計が多くなっています。今こそ全国組織であるNEP工業会会員各社が時代に合った新製品を提供しあい様々なノウハウをお互いに研究しあい各社の繁栄に結びつくよう、工業会技術部会も活発に活動してまいります。今年には明るいニュースとして皇太子徳仁親王のご婚約も発表され平成5年は必ずよい年になるものと考えます。

今後共皆様方の御指導をよろしく願い申し上げます。新年のあいさつと致します。

# 第21期NEP工業会 秋季合同部会

## 第1日目レポート



営業委員 岸川 健太郎

今回の合同部会は長いNEP工業会の歴史上初めて、女性社員の参加が10数名ありました。会場には会員各社の美人が集い、非常に華やいだ雰囲気がありました。"あの美人はどの社の人か?" など思っているうち、両部会長の挨拶が終了し、研修会がスタートしました。

初めに、欧州視察から帰国されたばかりの原田先生より、EC統合前の各国の近況が報じられました。ドイツをはじめ、様々な問題を抱え不況感是我が国以上のものがある様です。

次に事例発表として、業界で大きく飛躍されている2社から講演がありました。まず、不二コンクリート工業 株富永部長より「イメージを越えた工場づくりとミキサー選び」と言うテーマで発表がありました。これは、岩本社長の熱い思いでもあるイメージアップ戦略ですが、「自分の子供をこの工場に働かせたいか?」をキーワードに多くの改革に着手されている事例でした。我々の業界に対する若年労働者の現実離れは、深刻な悩みでもあり、提案のあった「綺麗、快適、格好いい」の新3K実現の為に、各社出来る事から前向きにチャレンジしなければなりません。最初から諦めて、外国人労働者に依存し



ていると、現有の従業員の退職と言う事態を招く危険性があると思います。やはり、働きやすい環境を創造し、夢や希望を持ってもらわなければ「生きがい」を感じられないわけですから、これは大きな経営課題とする必要があると思います。設備投資、給与水準のレベルアップには資金がいる。それならどうしたら、付加価値を高められるかを考えなければなりません。

続いて、ソフト面からの提案として、インフラテック 株松崎管理部長から発表がありました。テーマは「我が社の求人方法とOA化」と言う事で、リストラの一環でのCI活動そして、経営戦略に基づいたリクルート活動には我々業界を越えたスケールの大きさを感じ驚きました。地元就職希望学生の人気企業ランキングの上位社と言う事で、今年も数百名の中から採用されています。

そして、新しい市場の開拓及びC・S経営の実現に向けて、全社的にS・I・S構築を推進されています。私達の周囲には様々な大量の情報がありますが、これをシステム化により収集・分析し、顧客サービスとして活用してこそ初めて情報としての価値が生まれるわけです。全社員が顧客指向を持ち、意識改革をしなければなりません。

我々の業界は言うまでもなく、社会資本の充実へ向けた商品提供を行っているわけですから、社会的責任・貢献を意識し、社会から「なくてはならない会社」と認知してもらおう様、努力して参りましょう。

最後に、初日夜の懇親会では、100円×65枚争奪大ジャンケン大会及び、NEP版ウルトラクイズ(優勝賞品が高級カメラ)が催され、両者ともウーマンパワーの勝利であった事を御報告申し上げます。



## 第2日目レポート



技術委員 上田 正

(第21期NEP工業会秋季合同部会)の二日目は、女性中心のプログラムで、まずランデス株品質保証部係長・坪田陽子さんが、「我が社の品質管理」というテーマで発表されました。坪田さんはコンクリート主任技師の資格を持ち、現在はランデス社の7工場18名の品質管理担当者の教育係も担当されていますが、その仕事にける情熱がひしひしと伝わってくる素晴らしい発表でした。感動を覚えたのは私一人ではなかったと思います。

続いて、株日東社長・三町令子さんより「職場における女性の活用について」というテーマで、女性を戦力化するための具体的な方法や注意することなどについてお話を頂きました。女性の育成、指導に頭を痛めている社にとっては大変参考になったと思います。また、これを機会に女性を戦力に加えようという社もあるのではないのでしょうか。

女性中心のプログラムの締めくくりとして、各社の女性社員を対象とした「こんな上司は大嫌い」アンケートの結果報告の後、女性社員へのインタビュービデオを視

聴しました。このビデオは会員4社で撮影したものをネオジオ社が編集したのですが、力作との評価が高く、ダビング希望が相次ぐと思われます。10数人へのインタビューですが、上司や仕事に対する本音が聞け、女性社員への接し方、指導、教育の仕方を再考させられました。

次に、テルアルメ工法やNEP工業会で取り扱う予定の「テクスパン」を海外より導入した実績を持つ住友商事株鉄鋼第一部部长付の平野豊氏より「発想の転換(セールスマンと結婚詐欺)」というテーマで、発想の転換の必要性や物の見方などについて豊富な経験を元に例を上げて話して頂き、大変勉強になりました。

最後に当工業会顧問の原田先生に本合同部会を締めくくって頂きました。お話の中で、コンクリート製品業界のポイントとして、

①これまでの経済成長路線が止まる、②景気変動の振れ幅が大きい、③コンクリート製品の売れていく中身が変ってきている、ことをあげられました。また、コンクリート製品業界の好況もこの2年間が限界で、この間に損益分岐点を下げる努力をしておくべきだとのアドバイスがありました。

今回は、初の女性社員の参加とどうこともあり、気のせいか男性社員の表情もこれまでの合同部会とは違っていたように感じました。次回以降も、今回以上に多くの女性社員が出席されることを期待して私のレポートを終わります。

第21期NEP工業会 秋季合同部会		
平成4年11月10日～11日		
会 場 東京 グランドヒル市ヶ谷		
<b>11月10日 3F 会場内</b>		
一、開会挨拶 (10:00～10:10) 営業部会長 岸川 健夫 技術部会長 堀村 敏男	休 息 一、パソコン研究会レポート (15:45～16:15) 技術副委員長 衣笠 仁志 技術委員 小森 幸弘	一、我が社の品質管理 18:00～18:30 ランデス株(旧中国コンクリート工業株) 品質保証部係長 品質保証主任技師 坪田 陽子
一、欧州視察団レポート (13:10～13:40) コーディネーター 原田理一 現在訪欧中 11月7日帰国予定	一、資料レポート (16:15～16:30) 技術委員 駒田福徳之	一、職場における女性の活躍について (18:30～19:00) 株日東 社長 三町 令子
一、宅急レポート (13:40～14:00) 京浜コンクリート工業株 技術部次長 橋 実	一、特別講演「建設資材の動向」 (16:30～17:30) 財経調査会 本部調査部 第一調査室長 小倉 英一	休 息
一、事例発表 イメージを越えた工場作りとミキサー選びについて (14:00～14:30) 不二コンクリート工業株 製造部長 富永 義文	一、懇親会 (18:30～20:30) 2F 白樺の間	一、こんな上司は大嫌い (NEP版……アンケート報告) (19:15～19:30) NEP O.L.連合
我が社の求人方法とOA化 (14:30～15:30) インフラテック株 管理部長 松崎 日出夫		一、特別公演「発想の転換(セールスマンと結婚詐欺)」 (10:30～11:15) 住友商事株 鉄鋼第一本係 本部長付 平野 豊
		一、まとめ (11:15～12:00) NEP工業会顧問 原田 理一 (昼食後解散)

女子社員  
本音アンケート

こんな上司が大嫌い!

秋期合同部会に先立ち、NEP・OL連合では女子社員の本音を探るべく、アンケートを実施しました。日数的に余裕がなかったにもかかわらず、46社から回答を頂きました。(これは資料単価アンケート回答数48通にほぼ匹敵します) このアンケートに対する関心の深さとOL連合の結束の堅さがうかがえます!

結果は合同部会の2日目に発表させて頂きましたが、当日参加できなかった方と多くのOL連合会員のために、NEPレポートの紙面をお借りしてあらためて発表させて頂きます。

まず、問い1・2は家庭と会社の環境について伺ってみました。

1. 家庭について

- ① 家族は仕事をしていることに理解・協力してくれていますか
- ② 会社の行事(社員旅行等)などの参加に快く応じてくれますか。

	Yes	No
①	45	1
②	42	8

2. 会社について

- ① 結婚後、仕事に復帰できるような体制になっているか
  - ② 育児施設があるか
  - ③ 女性の意見が取り入れられていますか
  - ④ 女性の管理職がいますか
  - ⑤ 中堅女子社員の教育がなされているか
  - ⑥ 容姿だけで選んでいないか
  - ⑦ 学歴だけで選んでいないか
- (⑥⑦は設問がまずかったので、Yes・Noが不明確になっています。すみません。)

	Yes	No
①	25	17
②	0	45
③	19	27
④	19	26
⑤	9	36
⑥	7	38
⑦	9	36

3. 上司について

ここでは各社の上司をチェックしてもらいました。得点の多かったものから順に並べてみました。

	(点)
部下の仕事の状態を把握していない	33
人の気持ちを考えずに叱る	24
やるきを損なうような事を言う	24
言うことがその時その時で、コロコロと変わる	23
自分が絶対に正しいと思っている	23
悪者にはなりたくないと思う	19
女子を雑用係(コピー取り、お茶くみ)と思っている	19
自分の事を棚に挙げて、人を批判する	19
自分の都合だけしか考えない	19
自分が出来ない仕事(めんどくさいと思う仕事)を押し付ける	19
自分の考えを押し付ける	18
自分勝手(部員みんなで決めたことを自分の都合ですぐに変えてしまう)	17
ギリギリになるまで、何も手をうたない	17
セコイ/(自分のお金は出さない)	17
目先の事に捕られる	16
その時その時のお天気屋	16
部下に信頼されていない	16

第21期NEP工業会 秋季合同部会

NEP工業会合同部会に参加して。

阪神工業会 営業一課 頃安里美

今回、初めて女性が参加と言う事で、始めはとまどいでしたが、東京で行われると聞き出席させていただきました。会場に入ったとたん大勢の方が来られてるのに驚きました。でも女性は12名ぐらしかおられず、不安な気持ちになりつつ席につきました。会合が始まり、話される内容を一生懸命聞いていたのですがとても難しい話ばかりで、ついていけないのは当然の事ですがその中でも興味を持った話の感想を述べたいと思います。

“イメージを越えた工場作り”の話では、今いる人達がやめないようにするには、いくらお金がかかっても仕方がない。自分の子供が働きたいと思うような工場作りをやって行きたいと話されました。それぞれの会社にもいい所や改善しなければいけない所もあると思いますが社員の事を考えていただけるような会社だったら楽しく働けると思いました。また“我が社の品質管理”を発表されたのが女性で驚き、役職が品質管理係長となっており、年配の方かと思ってたのが引才という若さに大変びっくりしました。そして仕事に対してすごく前向きで圧倒させられ、女性が結婚して家事をしながら仕事をするのは大変な事で、周りの助けがなければ女性は働けない事を感じました。でも話の中では周りの方に感謝され仕事するのがお好きなんだなあと、私の仕事に対する思いを考えさせられました。また“こんな上司は大嫌い”アンケート報告では、前もって各会社の女子社員にアンケ



ートの依頼があり“自社でもみんなと”わいわい言いながら“こんな上司がいます”のチェックをしました。その集計報告で多かったのが1人の気持ちを考えず叱る。理由も聞かずに叱る。1.やる気を損なうような事を言う。1.自分が絶対正しいと思っている。うなづける結果のように思いました。また4社ほど、女子社員の仕事に対する気持ち、こんな上司は嫌い、結婚についてのビデオが流れ、とてもきれいに出来上がって我を忘れるほど見入ってしまいました。

最後、まとめの話では女性の仕事に対する話もされ、仕事をこれだけしたからといってみかえりを期待してはいけない。不満を持ってあらを探してはいけない。わかってもらえずはすだと思ふから不満が出てくる。と言われドキとし、まさにその通りだと実感しました。自分自身を磨き成長するには、仕事とは大切だと思いました。最後に発表とは関係ないのですが、会合の中では女性全員の自己紹介をしますと突然言われ、話が違ふ//と心の中で叫んでしまいました。とても緊張していたのですが皆さんの自己紹介を聞いていたら、不思議と落ちつき楽しく自己紹介が出来たと思います。また男性と女性は仕事に対して差別などしてはいけないと思うのですが、この度、初めて出張、会合出席と言う体験をして、男性はすごい//と実感し、いつまでも勉強と言うのは大切な事だと思った会合でした。

NEP工業会合同部会に参加して。

株ミルコン技術部 技術課 木村敬子

私は、初めて出張というものを体験しました。半ば緊張し、半ばどうせ行くな目立とうと思ひながら東京に向かいました。当日、合同部会に参加して興味深い話やなかなか馴染みのない話などたくさん話を聞くことができ、私自身知らない事やわからない事がたくさんあり私自身なんて視野が狭いのだろうと実感しました。また、いろいろな立場で女性もがんばっているのも私も負けずにがんばらなければと思いました。そして、いろいろな方々にお会いできてとても光栄に思いました。最後に、出張中お世話になった方々、またこのような機会を与えて下さった方々そして黒川社長、本当にありがとうございました。

合同部会に参加して

株九コン 総務部主任 山田 美穂子

今回、合同部会に参加させて頂いてたくさんのお話をきいた中で一番心に残っているのは、女性の方が自分の仕事に対して大変、意欲を持っているということでした。

自分自身を振り返ってみてここまで、意欲をもって仕事に取り組んでいるかと考えさせられました。

これから先、自分の仕事に対して今以上に意欲をもち責任をもちがんばっていかうと思います。

とても良い勉強になったと思います。また機会があれば参加したいと思います。



参加できてなかった女子社員の意見



株ネオジオ 総務部 花谷 文子

仕事がしたい。出張にも行きたい。でも周りのおやじ達はそんな叫びに耳を傾けようとしめない。女は雑用をしていればいとも思っているのだろうか？そんな考えは間違いであると目の前で叫ぶ勇気があればどんなにかそうかいな気分になるか…だが 誰かが出張に行くのを指をくわえて横目で見ているだけではいけないのかもしれない。進んで発言をしていかななくてはおやじ達は全く分ってくれないだろう。少しでもこのような悲痛な叫びに耳を傾けてくれる人がいればどんなにか働きがいのある世界になるだろうかと思う今日この頃である。



合同部会に参加して。

株九コン 技術部設計課 久保寺 信

私自身子供の年齢に合わせ仕事をして来たのですが、手がかからなくなった今、男性と同じ気持ちで仕事に取り組める時期に合同部会に参加させていただきました。

事例発表、ビデオ、品質管理等色々な方々の話を聞き、人生とは会社とは経営者とは再確認や反省の二日間でした。

私は職場で便利な人だけで無く好感をもてる人、いてもらわなくては困る人を基本に、工業会顧問の話の中で「人生とは目標を持って努力をし実現し楽しみながら生きて行く事」を重ね合わせて毎日の仕事にがんばりたいと思います。

会員各社  
訪問レポート



ランデス株式会社  
代表取締役 大月 隆行

中国横断道《米子～落合》線の開通を目前に控えた12月11日、中国縦貫自動車道の落合インターを目前に位置するランデス株式会社を訪問した。同社は昨年10月1日、創立30周年を機に《中国コンクリート工業株式会社》から《ランデス株式会社》に社名変更したばかり。企業風土の変革に積極的に取り組んでおられる大月隆行社長に、C I の話題を中心にお話をうかがってきた。

社名の変更はあくまでも結果

同社は昭和37年に設立、早々に京阪コンクリート工業株式会社と技術提携を結び、昭和40年代は矢継ぎ早に工場を設置し、次々とJ I S表示許可を取得。50年代に入ってからコンピュータの導入や製造設備の近代化に努め、60年代は関連事業への展開を積極的に行ってきた。

そして昨年10月、創立30周年を機に社名を変更し、新たにランデス株式会社として再スタートをきったばかり。社名の変更のみならずC I 活動の全体像をうかがってみた。

——C I 活動は3年がかりになります。まずは「C I をやるかやらないか」という根本的な部分で役員会で1年半議論しました。「やる」と決めてからは、企業理念の見直しを徹底的にやりました。役員と社員からなるC I 委員会を設置し、最終段階では1泊2日の合宿を行い、KJ法などの手法も活用しながら真剣に討議しました。

V I (ビジュアル・アイデンティティ=ロゴマークや社名などのイメージを主とした転換)に終わらせたくなかったからです。理念をしっかりと考えてそれに照らし合わせて社名の変更が必要かどうか、という視点で捉えていました。

C I とは本来、「経営理念の見直しと企業の存在価値の確認」ですから、最初から「(社名を)変えるか変えないかはあくまでも結果」と言っていました。もちろんコンサルタントに指導も頂きましたが、社名の変更についてはそういうスタンスで理解してもらっていました。

理念の検討を経て、結果的には社名変更に至ったわけですが、新社名は地元の皆さんや取引先の方も対象にして公募しました。最後まで旧社名を一部残した社名にこだわっていたのは実は私なんです。最後の最後に会長から「私に遠慮することはない」と言われて、全員決心がつきました。



ランデス株式会社  
LANDES CO.,LTD.

## TRY……社員マインド

CIの根本に迫る本質的な部分からの取り組みに、全社員が一丸となって取り組んだ軌跡がうかがえる。社員の参画の仕方はどんなものだったのだろうか？

——会社とは「あるもの」ではなく「創っていくもの」だと思っています。会社の悪いところばかり見るのではなく、いいところがたくさんあるのだからそこも見ていこう、その作業が理念の見直しであるわけです。いいところがたくさんあるからこそ、30年間続いてきたのだし、成長することができたわけですから。

そんな中で「感謝」「信頼」「青春」というキーワードが残ったわけです。これはあらためて考えてみると、前社長が35年間ずっと言い続けてきたことなんですね。結局これがわが社の社員マインドとしてふさわしい、という結論になりました。これを英語で表すと、BE THANKFUL「感謝の人」・BE RELIABLE「信頼の人」・BE YOUTHFUL「青春の人」となりますから、頭文字をとって「TRY」と表しています。

このTRYという言葉盛り込んで、素晴らしいイメージソングができあがった。落合町出身のシンガー・ソングライター岸田智史さんの作詞作曲である。

——校歌とか社歌とか、そういう依頼は多いらしくて、基本的には引き受けないそうなんです。まあ、お父さんが落合町の教育委員長をされておられることもあり、無理をお願いしました。

ちょうどミュージカル「ミス・サイゴン」に出演中で、公演に招待して頂いてそのあと楽屋でお話しました。経営理念とかCIのことをお話しまして、半月くらいで作っていただきました。これだけではできあがるまで、どんなものになるかまったくわかりませんでした。期待通りの素晴らしいものでした。

## 心をかたちに出れたなら

応接室にラジカセを持ってきてもらいCDシングルとなった作品を聴かせて頂いた。社歌ではなく、完璧なイメージソングである。CDにはカラオケ用の演奏まで収録されているのが心憎い。

——われわれはメーカーですから、かたちあるものを作ることが使命です。その部分を「心をかたちに出れたなら」「夢をかたちに出れたなら」というフレーズに取

り込んで頂きました。「先進のトータル技術で、人と自然を育む心をかたちにします。」という企業使命と呼応しているんですね。そして土木構造物とかコンクリート製品は長く残るものですから、子供達や後の世代に伝えていきたいという思いをうまく表現して頂きました。

社歌「TRY」

<p>1. 緑映つ 地球の鮮やかな青さを 子供たちに きっと 伝えたい 空を見上げて 思う 道端に咲く花の 一輪のぬもりを 見送るよように 伝えたい それが やさしさの証 ※TRY TRY TRY TRY どんなに 時が流れて TRY TRY TRY TRY 時代が変わろうと 心をかたちに 出来たなら この愛は 君に届くだろう 人が人として ゆく道は 小さな最初の この一歩から</p>	<p>2. 人としてさやかに 友として語り合い 親として ずっと信じ合い 風を感じていたい TRY TRY TRY TRY 心の地図を広げて TRY TRY TRY TRY ※Repeat 想いをかたちに 出来たなら その夢はきっと 叶うだろう 人が人として ゆく道は 小さな最初の この一歩から ※Repeat</p>
--	--

作詞/作曲：岸田 智史

## 日本文化デザイン賞の受賞

ランデス株式会社の開発した商品のひとつに、自然保護を配慮した水路「ハイダセール」がある。まさに生き物への優しさという「心」を「かたち」にした商品である。TV、新聞でも取り上げられたものなのでご存じの方も多いと思う。

——ある日、日本文化デザインフォーラムという所から手紙が来まして、「生き物に優しい側溝の開発に対し、《日本文化デザイン賞》を贈りたいが、受けてもらえるか？」という内容なんです。突然のことで、なんのことかわからないけれど、代表・黒川紀章となっているのを見て、これはスゴイことなんだと初めて思いました。

1980年から続いている賞で、今までの受賞者を見ると梅棹忠夫氏、ワコールの塚本氏、バルコの堤氏、故本田宗一郎氏、黒沢明氏、三宅一生氏、小沢征爾氏、元神戸市長の宮崎氏ほかスゴイ受賞者ばかりなんですね。狙って頂いた賞でもないし、ホントに驚きました。今回は大賞の文芸評論家の李御寧さんを筆頭に、東芝のワープロ1号機作成グループ、三重県の海の博物館、建築家の早川邦彦さん、そしてわが社の計5件の受賞でした。

なによりも社員が喜びました。われわれのやっている仕事が、作ったものが社会に評価して頂いたということ、これはなにも代え難い喜びです。10月には受賞式が甲府市で開かれ、賞状とこの盾を頂いてきました。おもしろいデザインの盾ですが、「出すぎた釘は打たれない」というタイトルだそうです。

賞状



賞状  
JAPAN INTER-DESIGN FORUM  
'82 YAMANASHI  
日本文化デザイン賞  
ランデス株式会社 殿  
水路や側溝に落ちたヘビやカエルを救う  
コンクリートブロック「ハイダセール」を  
開発されました。  
死生の別れ、生き物に優しい側溝の開発に対して  
日本文化デザイン賞を贈ります。  
1992年10月14日  
代表 黒川紀章

## 社員参加で会社づくりを

本社工場である落合工場の休憩室に案内して頂いた。広くスッキリした食堂兼休憩室である。シャワールームや娛樂室も完備している。なによりも社員を大切にしている社長の心がかたちに表れていると思ったのだが、社員による委員会が案をつかったものだそう。女子作業員の制服が、ジーパンとトレーナーというのもユニークで、これも全員参加で決めてもらった結果だそうである。

ランデス株式会社に電話すると、必ず「ランデス株式会社の××です。」と自分の名前を名乗った気持ちのいい声が返ってくる。これも若手女子社員によるニコニコ・プロジェクトなるチームの発案。すべてこの調子である。

——誰もが電話を取らないと簡単に会社は潰れます。



出すぎた釘は打たれない

それだけ大切な仕事をしているんです。その部分をこういう活動を通じて見直してもらっています。できるだけ参加型でいきたいですね。そして一人一人が積極的に仕事をし、仕事そのものがその人の人生にとって意義あるものであれば、と思います。そんな会社づくりをしたいですね。

(レポート 衣笠仁浩)

## 《会社概要》

- 設 立 昭和37年10月
- 代表取締役社長 大月 隆行
- 資 本 金 3,200万円
- 従 業 員 数 325人
- 売 上 高 90億円
- 関 連 会 社 景観システム株ほか4社
- 本 社 所 在 地 岡山県真庭郡落合町開田630-1



ランデス社員食堂

NEP中日本スクール



NEP中日本スクール  
太田 浩 司

1992年10月27日午後1時、第3回NEP中日本スクールは開校されました。日常生活では得られない適度な緊張を体験し、学ぶところが多いと評判の中日本スクールも早くも3年目を迎えたわけです。第1回、第2回とも2泊3日の時間をかけてたいへん中身の濃いものとなりましたが、長時間にわたり会社業務と遠ざかるということではほぼ25名程度の参加者と、多少スタッフの予想よりも少なく寂しさを禁じえませんでした。そこで第3回目は短時間でできる限り充実したものとし、これまでより

多くの参加者を集めようという方針になったわけです。そして当日、わたしたち企画側の気持ちが伝わったのか、参加者は40人を数え、これまでにない賑やかなスクールのスタートとなりました。

まず、27日の午後1時から5時間をかけて喜田寛先生による「自己表現セミナー」を開催しました。喜田先生は昭和20年兵庫県生まれ、昭和47年より「話し方」の訓練・研究を行い、現在㈱日本創造教育研究所を活動の中心としながら日本各地の青年会議所、商工会議所などで



セミナーを開催しておられます。喜田先生独自の「自己表現セミナー」は、講師が一方的に受講生に伝えていくという、いわゆる講演会ではありません。まず最初に1時間半程度のレクチャー（講義）があります。そしてレクチャーが終わると一人ずつ指名され、マイクの前に立ち、「自由題」で3分間話をします。それに対して喜田先生が講評を加えてゆくという、参加型セミナーとして進行してゆきました。この「自己表現セミナー」のミソは喜田先生の講評にありました。普通「話し方セミナー」といいますと単に声の出し方や内容の構成の仕方、態度や姿勢などを「あした方がいい」とか「こうした方がいい」といった話す技術を学ぶ場となりがちです。しかし、喜田先生のセミナーはそんな「上手な話し方」というレベルにとどまらず、「人が感じて動いてくれる話し方＝感動的表現方法」ということについて私達受講生が、各々の立場で気付いてゆけるような内容のものでした。受講生一人一人はいつ自分の番が回ってくるのかとヒヤヒヤしながら、また、喜田先生に率直で厳しく、また思いやりのある講評を受けながらも多くを得ることができたようです。



さて、翌28日は午前8時半からスタートしました。前日のテーマが「話し方としての自己表現」であったのに対し、この日は「聞き方としての自己表現」というテーマで演習を行いました。演習の内容は紙面の都合上詳しく説明することはできません。ただ、私達スタッフを感じてもらいたかったこと、学んでもらいたかったことを要約すると次のようになります。「話し上手よりも聞き上手」という言葉が昔からありますが、この言葉はリーダーシップという観点からみても人間関係という観点からみても非常に的を得た言葉です。つまり、人間は本能的に相手が受け入れるであろう事しかその相手に話さないといわれており、リーダーの役割が様々な意見を持った人々の力と方向性を統合し、成果を創り出すこととするならば「この人は一端なんでも受け入れてくれる」という信頼こそがリーダーには必要であり、それには「聞く姿勢」というものが確立されていなければならない、という事なのです。具体的にいうと「聞く姿勢」を持たない人の所には悪い情報も良い情報も流れず、「裸の王様」になり、的確な判断が家庭においても職場、地域社会に於てもできなくなり、リーダーとしては無論失格で、人間関係も良いものが築けるわけがない、という事なのです。以上のような事を演習を通じて感じていただきたいという思いでセミナーを構成しました。いつものように受講生の皆様には普段体験できない気持ちの良い緊張と疲労を感じていただき、また得られるところもあったと信じております。

最後に、たくさんのお受講生を送り出していただきました会員各社の皆様、業務御多用のなか本当にありがとうございました。これに懲りず、今後ともご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

# 我社の自慢コーナー

## REPORT

不二高圧コンクリート㈱  
福田裕子

我が社の自慢は、小川事業所に勤務している、中川由美さんです。中川さんは我が社にトラバークする前に、ニコニコ堂であの松野明美選手とともに、陸上選手として活躍されていました。

中川さんが陸上を始めたのは、中学校から。高校へは陸上の特待生として入学し、卒業後ニコニコ堂の第1期生として同期の松野明美選手とともに実業団チームをひっぱりこられました。中川さんの得意種目は1500M、自己最高記録の4分33秒は当時県下の女子で3位の好成績です。また、全国実業団女子駅伝3位、砥用町体育功労賞受賞等華々しい功績を残していらっしゃいます。

11年間の選手生活中、何度も陸上を止めようと思ったそうです。そんな中川さんを支えて来たのは、記録への挑戦と、自分をどこまで追い詰められるかということだったそうです。「走った後の爽快感はたまりませんよ。」内に秘めた闘志とはうらはらに屈託のない笑顔で話される中川さんです。今までまでは競馬馬みたいに走らされている感じ、今は、走ることが楽しくなったという中川さん。苦しかった陸上も、週末には友達と20K走られるなど、現在、陸上とは相思相愛の関係のようです。こよなく陸上を愛する中川さんが私達の自慢です。



### ☆中川由美さんのプロフィール☆

昭和44年2月3日生まれ(現在23才独身/)

特技：陸上

趣味：料理、手芸(本人の弁：女らしいことが好きなんですけど、実際はしないんです。)

好きな男性のタイプ：カッコいい人

(足に自信のある人はぜひ!)

### 編集後記

皇太子徳仁殿下と小和田雅子さんの御婚約内定の報道はバブル経済崩壊後の現在の不況下にあって、本当に心沸き立たす新春にふさわしいニュースとなりました。また、貴・リエ騒動も毎日のようにマスコミを騒がせていますが、この様なニュースばかりが全面に出てくるのは、おめでたいニュースによって暗い世相を吹き飛ばしたいという心理からきているのかも知れません。さてNEPレポートも5回目の発行を迎えました。今回は合同部会特集と銘打って、第21期の秋期合同部会の内容を特に詳しく報じています。この合同部会で特筆すべきは、NEP工業会始まって以来初めて多くの女性社員さんの出席を得たことです。内容や出席された方々の感想は本文に詳しく出ていますが、主催者側からいってもおおむね成功裏に終わったものと

感じています。さて、「この頃の合同部会は少し変わった企画を取入れただな」という感想をお持ちの読者はどれくらいいらっしゃるでしょうか。そう思われた方は良く出席していらっしゃる方、またはきちんと報告を受けておられる方、そうでない方はその逆です。いま本部の営業・技術委員会では合同部会が出席者の方々に知識修得の場として、啓発の場として、情報交換の場としてより効果的であるよう、またより楽しい会であることを目標として企画しております。会員社の益々の発展のため、ひいては工業会発展のため、これからもたくさんのご出席を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。追伸：春期合同部会は4月22日・23日、名古屋地区にて開催が予定されています。ふるってご参加下さい。(K.O.)